

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から3か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

百科事典で「建築」を引くと、言葉の由来のほか、様式、材料・技術など、建築のさまざまな側面が解説されています。今回は、建築のさまざまな側面を深く知ったり調べたりできるように、調べものの部屋から10冊を選んで紹介します。

## テーマ： 建築

### ▶リストの見方

No.	書名 著者名(出版者, 出版年)【請求記号】	【 】の中は調べものの部屋の請求記号で、日本十進分類法(NDC)を元にしています。
-----	---------------------------	---

### ▶まずは全体を見渡す

1	<b>14歳からのケンチク学</b> 五十嵐太郎 編(彰国社, 2015) 【520.4】	大学などではおもに理工系とされる建築学ですが、「あらゆることは建築を通じて、あるいは建築的に考えることが可能」と編者は言います。この本では、「国語」「体育」など中高の教科ごとに、それらの教科と「建築」とのつながりを、建築学の専門家や建築家が語ります。
2	<b>フレッチャー図説世界建築の歴史大事典：建築・美術・デザインの変遷</b> フレッチャー[著], ダン・クリュックシャンク 編, 飯田喜四郎 監訳(西村書店東京出版編集部, 2012) 【520.2】	英国で1896年に刊行以来、百年以上の時を超え版を重ねています。1919年に岩波書店が初邦訳していますが、当部屋にあるのは1996年刊の第20版の翻訳です。NDL ONLINEの書誌詳細画面では、目次のほか、本書の索引に採録されている建築名・建築家名を確認(キーワード欄からの検索も)できます。

### ▶建築家・建築士

3	<b>日本近代建築家列伝：生き続ける建築</b> 丸山雅子 監修(鹿島出版会, 2017) 【523.1】	近代日本を代表する35人の建築家の作品と生涯を解説した本です。豊富な写真に加え、巻末に建築物の所在地リスト、建築家の個人年譜を載せています。なお、現在の国際子ども図書館の前身である帝国図書館にゆかりの建築家は、二村悟著『日本の建築家解剖図鑑』(エクスナレッジ, 2020) 【523.1】で調べられます。
4	<b>建築士の日(暮らしを支える仕事見る知るシリーズ：10代の君の「知りたい」に答えます)</b> WILL子ども知育研究所 編著(保育社, 2020) 【520】	パート1は、密着取材やインタビューの形式で建築士の仕事について紹介しています。パート2は、建築士になるために必要な学びや資格の情報をまとめています。

### ▶建築構造・建築基準法<sup>※1</sup> ※1 建築基準法：国民の生命・健康・財産の保護のため建築物の敷地・設備・構造・用途の最低基準を定めた法律です。

5	<b>超合法建築図鑑(建築文化シナジー)</b> 吉村靖孝 編著(彰国社, 2006) 【521】	「法規をかたくなに遵守したおかげで逆に周囲から浮いてしまった」建築物の写真集です。自身も建築家である著者は、それらの建築物に「超合法建築」と名付けて、「彫刻系」「浮遊系」などと分類し、法解説します。法解説というと何だか難しそうですが(参照すべき法にも言及しています)、意外と肩の力を抜いて楽しめる本です。
6	<b>耐震・制震・免震が一番わかる：現在の建築物で重要視される地震対策をまんべんなく解説(しくみ図解；029)</b> 高山峯夫, 田村和夫, 池田芳樹 共著(技術評論社, 2012) 【524.9】	現在使われている建物に地震対策が必要なことは言うまでもありません。国際子ども図書館でも、帝国図書館の建物をリニューアルするにあたり、「免震レトロフィット」(p.160)工法を使っています。この本は地震と建築についての基礎知識から、耐震・制震・免震の各構造まで、イラストを多く使いながら解説しています。
7	<b>建築教室：生きのびる子供たちのために(INAX booklet)</b> INAXギャラリー企画委員会 企画(INAX出版, 1997) 【527】	小学生以上の子どもと大人が力を合わせれば、紙や竹、ベニヤ板などの身近な材料と通常の工具を使い、約一日で自分の小屋(シェルター)が作れるとのこと。体験しながら、建築構造について学べる本です。巻末の「参考図書」では、比較的わかりやすい解説の建築構造の本などが紹介されています。

### ▶建築材料・建築技術

8	<b>日本の最も美しい赤レンガの名建築 = 75 Most Beautiful Brick Architectures in Japan</b> 歴史的建物研究会 著(エクスナレッジ, 2018) 【U-523.1】	建築材料としての煉瓦は火事に強いものの地震に弱く、現在も残るのは震災や戦災を免れて耐震改修を施されたものです。この本は、全国各地に残る煉瓦建築物の魅力を伝える写真集です。巻頭には、基礎知識として「煉瓦の世界史・日本史」「煉瓦建築・人物伝」「5分でわかる煉瓦建築物の見方」の解説があります。
9	<b>日本の壁：鏝は生きている(Ina booklet; vol.5 no.2)</b> 伊奈ギャラリー企画委員会 企画(INAX東京ショールーム, 1985) 【524.8】	国際子ども図書館では、天井の漆喰装飾・鏝絵(こてえ)を建物の見どころの一つとしています。この本は、鏝絵を含む日本古来の左官技術を深掘りしながら解説したものです。
10	<b>世界の居住文化百科：ビジュアル版：さまざまな民族の伝統的住まい</b> ジョン・メイ 著, 藤井明 日本語版監修, 本間健太郎 訳(柊風舎, 2013) 【527】	ヴァナキュラー建築(風土特有の材料を使い、伝統的な技法を用いて、その土地の住民自身が建てる家)について、世界各地の事例を研究した本です。ヴァナキュラー建築と見なされる住居で、人々がいかにかえられた自然環境に適合して暮らしてきたか、環境論的な立場から、伝統的な住まい方を再解釈します。日本からは、合掌造りの民家と木造の町屋が紹介されています。